

里ちゃんだより



里庄町教育委員会 電話 0865-64-7212

教育長あいさつ

里庄町教育委員会 教育長 杉本 秀樹

町民の皆様方には、教育行政の推進につきまして、何かと大変お世話になります。改めまして心より感謝申し上げます。コロナ禍での様々な制限・見直しを行いながらの学校教育や社会教育の活動から、以前のような、制限のない活動へと徐々に戻ってきました。活動されている皆様方の笑顔あふれるお元気なご様子も以前にも増しているようで、本当にうれしい限りです。これまで以上に、ご利用いただける方々の元気と笑顔があふれるように、教育委員会職員も頑張っていきたいと考えております。

また、各幼稚園、小学校、中学校におきましても、日常の学習活動や学校行事が存分に行えるようになってきました。運動会や学習発表会など、保護者等の方々にも、特別な制限を設けることなく、お越しいただいております。本年度もあつという間に、後半になりましたが、これからも、子どもたちを認め続けることを大事にしながら、子どもたちの笑顔と元気な姿がいつでも見られるように、教職員と力を合わせて魅力的な学校・園教育を運営して参ります。

今後とも皆様のご理解とご協力を仰ぎながら、学校教育・生涯学習のさらなる推進を図ってまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

里庄町の子どもたちの学力について（全国、岡山県学力・学習状況調査の結果より）

今年度も、全国学力・学習状況調査、並びに岡山県学力・学習状況調査が行われました。結果の概要をお示しします。全体としては、ここ数年、全国平均と比べてほぼ同程度か上回る状況であり、特に大きく心配する状況は見られません。

全国学力・学習状況調査（小学6年生、中学3年生）では、小学6年生（国語・算数）と中学3年生（英語）で全国平均を上回り、中学3年生（国語・数学）で、全国平均並みとなりました。

岡山県学力・学習状況調査（小学3年生～5年生、中学1年生～2年生）では、小学生の国語（全学年）と算数（3、4年）、中学生の国語（2年）と数学（全学年）と英語（1年）で全国平均を上回り、小学校の算数（5年）と、中学生の国語（1年）と英語（2年）で全国平均並みとなりました。今後も、結果だけを見て一喜一憂するのではなく、子どもたちのよさや頑張りを的確に認め、自己肯定感を育みながら、一人ひとりの子どもたちがもっている力を、さらに伸ばしていくことが大切だと考えています。

里庄町では小学校と中学校が連携して、学力向上の重点目標を次の3点に決めて、充実を図っています。

- ①基礎・基本の徹底
- ②表現力の育成（書く力）
- ③家庭学習の充実

今後も、学校・家庭・地域で力を合わせ、「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」の育成に全力で取り組んでまいります。

（文責 指導主事 天野正彦）

Something Fun Something Interesting (楽しいこと 面白いこと)

里庄中学校長 國府 道弘

つきたい力

2学期から非認知能力を9つの里庄中「つきたい力」①忍耐力②レジリエンス③協調性④コミュニケーション力⑤郷土愛⑥当事者性⑦論理的思考⑧批判的思考⑨創造性として整理し、生徒・教員で共通理解を図っています。取り組みが進み、授業の振り返りで「話し合いの中でコミュニケーション能力を養うことができた。」「班の活動や意見をまとめる時に批判的思考が大切だと感じた。」など、生徒の意識にも浸透しつつあります。この取り組みをさらに熟成させ、自己肯定感の向上・夢をもち、それに向かって努力できる力の育成を目指したいと思っています。



つきたい力を意識した授業 2年生



つきたい力を意識した授業 3年生

体育会

10月12日(木)体育会が行われました。

開閉会式での生徒の素晴らしい態度、きびきびとした動き、それだけで価値のある体育会であったと思います。圧巻は、3年生による応援パフォーマンスでした。夏休み中から準備し、一丸となって演じる姿に、鳥肌が立ちました。その他にも、リレーで激走する姿や8の字ジャンプでみんなで声掛け合いながら跳ぶ姿を見ることができ、大興奮・大感動の一日となりました。規模は縮小されましたが、里庄中の体育会の伝統は脈々と引き継がれています。当日ご来校いただき、温かく見守ってくださったすべての皆様に感謝いたします。



体育会3年生応援パフォーマンス

週27時間プロジェクト

10月16日(月)より、生徒・教職員の日々の多忙さを緩和し、ゆとりのある生活を送ること、及びそれによる学びの質の向上を目的として月・水・金を5時間授業とするプロジェクトをスタートさせています。保護者の方には文書で周知させていただいておりますが、カリキュラムの大幅な変更にご理解をいただき、心より感謝しております。

この取り組みにより、生徒が地域で活動する時間が増えてきていること存じます。地域の皆様にも、より一層のご理解・ご協力をお願いいたします。

裏面に続く

心豊かでたくましい里見っ子の育成 里庄東幼稚園・東小学校長 土屋新太郎



大原焼の学習（5年生）

里庄東小学校は、昨年度、創立150周年の節目を迎えました。今年度は、次の半世紀に向けて本校が益々発展するための大切なスタートの年になります。開校以来大切に受け継がれてきた本校の伝統を受け継ぐとともに、児童一人ひとりに居場所があり、自分の得意を伸ばし、お互いの違いを認め合いながら協力できる学校づくりをめざして、保護者や地域の方々のご理解とご協力をいただきながら、日々の教育活動を工夫しています。今年度は、コロナ禍も明けて、地域の講師の方による菊桜の学習や大原踊り、大原焼などの地域学を充実させています。

また、小中連携活動では、夏休みの学習会に学習サポーターとして中学生の有志が参加してくれたり、陸上運動記録会に向けての児童の放課後練習に、里庄中学校陸上競技部員がアドバイスをしてくれたりするなどの取り組みが行われ、児童のやる気や勇気の高まりに繋がりました。さらに、本校では、非認知能力である「自己肯定感」「自己有用感」を高める教育活動の一環として、昨年度から「マイスター制度」を導入しています。この「マイスター制度」とは、自分の得意なことを伸ばしたり、新しいことや苦手なことにチャレンジしたりすることを目的とし「タイピング」をはじめ、今年度から新たに「あいさつ」「ぬいもの」「音楽」「スケッチ」など様々なマイスターが考案されており、児童は自分が希望するマイスターをめざして、意欲的に挑戦することができています。この取り組みにより、児童が、自分の好きなことにはもちろん、新しいことや苦手だと思っていることにも挑戦し、自分の得意を見つけるチャンスになってほしいと願っています。

一方、里庄東幼稚園は、来年1月で創立70周年を迎えます。2学期が始まって以来、園児たちは猛暑の中、運動会の練習に励みました。当日は、多くの保護者の方々の声援をいただきながら、一人ひとりが自分の力を精一杯発揮する姿が輝いていました。この運動会では、仲間と協力し合ったり、励まし合ったりすることや、最後まで諦めないことの大切さを学ぶことができたと思います。

現在、12月初旬に行われる生活発表会に向けて、りす組・くま組ともに日々練習に取り組んでいます。また、チャレンジ遊びとして、竹馬や縄跳び、ホッピングの上達にも挑戦しています。自分で決めた目標の達成に向けて、友だちと励まし合いながら地道に努力する園児たちの表情は、とても生き生きとしています。最初は上手くできないことでも、諦めずに繰り返したり、自分で工夫したり、先生や友だちに教えてもらったりしながら最後までやり抜く、たくましい里見っ子に育ててほしいと願っています。

保護者や地域の皆様のご理解とご協力に対して心よりお礼申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



陸上練習のアドバイスをしてくれる里庄中学校陸上競技部員



リレーの練習を頑張る園児



チャレンジ遊びで縄跳びに挑戦する園児

豊かな交流活動について

里庄西幼稚園・西小学校長 柚木 康男

里庄西小学校は、明治6年に醇成小学(明治9年より醇成小学校)として創立以来、今年度で150周年を迎えました。PTAや地元企業のご協力をいただき、児童会が主体となって様々な記念事業を実施しています。児童には、本校の長い歴史に誇りを持ち、様々な記念事業が児童の生きる力につながることを願っています。

さて、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、里庄西小学校では、様々な交流活動を行っています。栽培活動で、異年齢(縦割り班)でパンジーをプランターに植える活動を行いました。これは、学年を超えた人間関係を豊かにし、協力しようとする態度が育つことを目的としています。上学年が下学年に優しく声を掛けたり、一緒に活動したりする様子が多く見られました。

また、1年生が、かすみ保育園・里庄西幼稚園の年長児と交流する会を行いました。1年生が、生活科の学習「あきたんけん」で見付けたものを使って遊ぶ「あきのおもちゃランド」を開き、小学校に園児を招待して一緒に楽しみました。そして、学習発表会で行う音読や歌、合奏を発表しました。1年生にとっては、学習の発表の場であり、園児にとっては、小学校の学習にふれ、小学校入学への期待をふくらませる機会の一つとなっています。これは里庄町で行っている保幼小接続カリキュラムに基づいて行っています。

里庄西幼稚園では、異年齢で一緒に活動することで、相手を思いやる気持ちが育むようにしています。年少児は、年長児が遊んでいる様子を見て、憧れを抱いたり、新しい遊びやルールを覚えたりします。また、年長児は、自分たちが手本となり、自分の言動に自信をもったり、成長の喜びを感じたりします。こうした集団の中で、遊びを通して生活に必要な力や態度を身に付け、心豊かに生きていく力を育てます。教師は遊びの環境構成や援助の工夫に努めています。

また、令和3年度から始まった里庄西幼稚園・里庄西小学校学校運営協議会(コミュニティ・スクール)では、継続してあいさつを重点にして取り組んでいます。11月には、学校運営協議会が主催であいさつの輪を広げることを目的に、紙ヒコーキ大会を実施しました。園児や児童、そしてたくさんのボランティアの方が参加してください、地域の方と交流を深めました。

このように学校・園では、保護者や地域の方と連携して、人との関わりを大切に、豊かな学びができるように取り組んでいます。これからも園児、児童のよさや頑張りを的確に認めながら、非認知能力の向上を目指し、豊かな体験を通して、「里西っ子の生きる力を育てる」という学校・園目標の実現に努力してまいります。今後とも保護者、地域、町民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



栽培活動の様子



「あきのおもちゃランド」の様子



チャレンジタイムで竹馬に挑戦する園児



学校運営協議会主催
紙ヒコーキ大会の様子